



令和6年10月17日発行

ふる里からの

「ふる里だより」

10月号

今年の指針
“陽光”



あかしく やわらかく やさしく

社会福祉法人 龍明会
ティザービスセンター ふる里

長崎県 大村市 鬼橋町 1416番地

TEL (0957) 27-4500

FAX (0957) 27-4501

HP検索：[ティザービスセンターふる里](#)



『コロナで出来なかった同窓会が6年ぶりに』



2019年、令和元年に『佐世保南高等学校第28回卒業の同窓会』が開催されて以来6年ぶりの同窓会が開催されました。令和元年の同窓会がとても好評で当時同窓会が開かれると「次の年も会おうや！」と思う同窓生の声も多かったのが事実でした。幹事さん達の苦労も大変とは思っていても「いつも会いたい！」と皆が感じた令和元年の同窓会でした。しかし、コロナの流行で開催できず、開催日をなかなか決められなかったことでしょう。幹事さんの所には多くの開催要望の声があったことと思います。コロナの時も幹事の皆さんは個人的な要望に真摯に向き合ってもらいました。そしていよいよ先月9月28日に佐世保南高等学校第28回卒業の同窓会が開催されました。5月に案内状が届くや否や私は速攻でももちろん“出席”の返事を出しました。その日から待ち遠しくて待ち遠しくて毎日がワクワク状態でした。これまで同窓会が卒業して4回行われましたが、3回目からの出席だったと思います。大学を卒業して就職で佐世保に帰って来てからですが、最初と次の回は、欠席しました。2018年、平成30年に佐世保に住んでる者だけでの“ミニミニ同窓会”が開催され、その時に私が昭和32年から平成30年まで入学、卒業、成人式と節目のたびごとの主な出来事をカラー刷りの写真入りアルバムとして作成し、同窓会に参加しました。幹事さん達が頑張っているのも私何か思い出になるようにと考えての行動でしたが、みんなが喜んでくれたことがとても嬉しかった。

今回の同窓会には、ふる里で敬老祝賀会の時にいつも提供している、満洲屋さんの協力を得て、「祝 南校28回卒業」と、ロゴを入れての縦横約60センチメートル四方のまな板に載せた120個の大村寿司を皆へのプレゼントとして持っていこうと考えていましたが、幹事さんは大いに乗り気だったのですが、会場のホテルから「食品衛生の上から持込み出来ません。」という返事。断念せざるを得ませんでした。「ふる里からのおたよりをよく見ているよ。」という仲間もいたので今回のおたよりに掲載されている“敬老感謝週間”の昼食時に提供した大村寿司の写真を見て想像してくれることでしょう。

幹事さん達からのコメントをいただきました。『2024年9月28日(土曜日)、6年ぶりに待ちに待った同窓会が盛会に終わり、コロナ禍の影響で長らく開催できず、皆様の顔を直接見ることができなかったことが心残りでしたが、今回の同窓会では129名の方々にご参加いただき、久しぶりに再会を果たすことができました。会場は、和やかな雰囲気、思い出話に花が咲き、昔の仲間との絆を再確認する素晴らしい時間となりました。とても有意義なひとときでした。ありがとうございました。3年後(2027年)に次回開催を予定しておりますので是非ご参加いただければと思います。』と。ただ、約450名の卒業生の中でその1割の仲間が逝去していました。明日は分からない人生“今”を大切に生きていかなきゃ。と感じています。



長崎県立佐世保南高等学校

センター長 森 隆敏

9月行事



9月行事は“利用者様が今後も健やかに毎日を過ごせるよう、楽しんで頂く”を目的に『敬老感謝週間』と題して祝賀行事を行いました。今年の皆さんへのプレゼントは、暑が続くそうだったので涼しく過ごしてもらいたいと団扇を用意しました。プレゼントに添える言葉は「毎日笑顔、生き生き笑顔」に決まり、全て職員の手作りで完成させました。そして今年は看板もリニューアルしました。文字を「寿」とし、描き飾り方も天井から吊して壁から浮かせています。とても迫力のある看板になりました。お祝いのレクリエーションは、外部から芸人をお呼びしました。初日に『ビコーズ&ミッチー』様が来られ楽器を使っ



ての演奏とトーク、ピエロの格好で皿回しなどを披露されました。うまくお皿が回ると「おー！」と歓声が上がリ拍手が巻き起こりました。皆さんにも手に取って頂き、とって



も上手に皿回しされていらっしやいました。二日目は『ふる里職員』による出し物をしました。初めに“どじょうすくい”を披露され、見た目の面白さと動きにみなさん大笑いでした。次に“ソーラン節”を踊り「そーらん、そーらん」と利用者様も掛声で応援して下さいました。最後に「完全！お祭りモード」の曲で“よさこい”を踊りました。特別にセンター長の和太鼓演奏も披露されました。迫力のある音楽と和太鼓の音に合わせて踊りました。アンコールの声がかかり、職員全員でソーラン節を踊りとても盛り上がる二日目になりました。最終日は『ヒロバンド』様による演奏をして頂きました。ギターとコーラスの組み合わせや特別にバンジョーの楽器も演奏して頂きました。特に曲の間のトークでは利用者様や職員も大笑いに。三日間の行事は、沢山の人の協力のおかげで熱気あふれる三日間になりました。

1日目

『ビコーズ&ミッチー』



2日目

『ふる里職員』

寿



3日目

『ヒロバンド』

寿



出し物の間に

二日目の出し物と出し物の幕間をA型の職員とセンター長が繋ぎました。A型の職員はカラフルなアフロのかつらをかぶり面白いトークで会場が盛りあがりしました。利用者様からも笑い声や拍手があがりとても楽しい雰囲気になりました。そしてセンター長は和太鼓を披露されました。フロアに響く和太鼓の迫力のある音が空気も心も震わせ、次の出し物のへのワクワクとした気持ちがわいてきました。幕間も素敵な時間になりました。

行事担当 坂上 希代美 田中 一恵

ランチも敬老の日のお祝い

皆さんが楽しみにされている昼食は今年も立派な鯛の尾頭付き刺身盛りと大村寿司を用意しました。初日は海の幸がふんだんに盛られたメニューです。ご飯も秋が旬の栗ご飯で、花を模した形になりました。甘い栗の味と醤油をつけて食べる刺身の塩味がとても相性が良く皆さんご満悦でした。二日目と三日目は大村寿司、大きなお寿司の真ん中に『寿』の文字と『陽光』の文字を桜でんぶで描かれています。おかずも秋の味覚が揃っておりとても美味しい昼食でした。三日間お箸を包んでいる“箸袋”はどれも厨房職員の手作りとなっており、ふるりのシンボルでもあるふくろうのイラストが描かれていてとても可愛い箸袋でした。食後にその箸袋を持って帰っていらっしゃいました。



敬老感謝週間特別ランチ



お刺身と栗入り赤飯

大村寿司

大村寿司と秋の炊き合わせ



お芋の煮食胡麻団子



秋の味覚スイーツ



マロニエ色流し

訪問ボランティア

9月25日に『めぐみ会』様の踊りを鑑賞しました。皆さんステキな着物姿でふるりに来場されました。まず一曲目は「夢追い酒」を傘を使っての踊りでした。クルクルと回転させ華やかさが感じられました。二曲目は「目ん無い千鳥」を踊られました。扇子を使いひらひらと舞う振りのしなやかさが魅力的でした。利用者様も扇子を持ち一緒に振ったり、手拍子をしたりと楽しそうに踊ったりしていらっしゃいました。三曲目は「みちずれ」という曲を踊られました。桜色の着物と赤い扇子を使って表現され、少し力強くそして女性らしい動きが合わさり皆さん見とれていらっしゃいました。最後はめぐみ会様とふる里職員で「花笠音頭」を踊りました。利用者様は手拍子をされたり、一緒に踊ったりと最後まで楽しい時間になりました。次回はお正月前後の予定になられます。今から楽しみにしております。



高齢者自立支援センター ふる里

【高齢者自立支援センターふる里】とは…

介護認定を受けておられない方（総合事業対象者）と要支援1及び2の方を対象とした新事業の高齢者活動支援サービス事業(A型)を平成29年4月から始めました。名称は「高齢者自立支援センターふる里」といいます。

生涯、健康で安全・安心な自立した生活が送れるように支援していくことを目的とし、専門的な職員(自立支援プランナー)がサポートいたします。ご興味のある方は、いつでもどうぞ。ご連絡をお待ちしております。

十月の行事予定

◆ふる里 10月行事『ミニミニ運動会』

9月22日(火)・23日(水)・24日(木)

◆生け花教室～齊藤マサミ先生～ 10日(木)・25日(水)

◆書道教室～中村朱実先生～ 7日(月)・31日(木)

◆おはなしの部屋～鐘ヶ江先生他～ 29日(火)

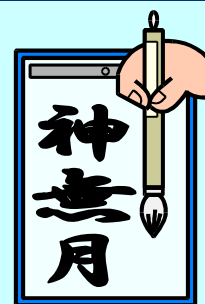
※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室～中村壽美子先生～ 24日(火)

◆麻雀・将棋・囲碁… 毎週水曜日午後

(2日、9日、16日、30日予定)

◆訪問ボランティア～19日(土) わがんせサックスアンサンブル様
～31日(木) マーラ・プア様



～9月の趣味活動の作品～



書道教室



おし花教室



生け花教室

9月11日に“地震火災避難訓練”を行いました。この訓練は101年前に起こった“関東大震災”が起こった9月に毎年行っています。今年も8月に宮崎で震度5の地震が起こり“南海トラフ巨大地震”への注意報が出ました。今回ふる里では湖畔の宿の1つのユニットから出火して初期消火に失敗したという想定で避難を行いました。利用者様はみなさん落ち着いて行動され、短い時間で避難をすることが出来ました。もし地震に合った場合に無事に生き残るためにも“避難場所の確認”と“防災バック(緊急時持ち出しバック)”などを用意し、いつ起こるかかわからない地震に備えて行きましょう。

編集後記：田口 真一